

一般曹候補生・自衛官候補生課程修了式に参加

自衛隊静岡地方協力本部富士地域事務所（所長・本間亮三等陸尉）は、6月26日（日）に富士駐屯地（駿東郡小山町）、滝ヶ原・駒門駐屯地（御殿場市）、6月28日（火）に板妻駐屯地（御殿場市）で行われた、令和4年度一般曹候補生・自衛官候補生課程修了式に参加した。

今年度、各駐屯地の教育課程には、富士所の担当地域である富士市・富士宮市出身の13人が入隊していた。

自衛官候補生課程の修了式では、本課程の修了をもって自衛官候補生全員が正式な自衛官である二等陸士に任命された。

さらに駒門駐屯地の修了式では、教育優秀隊員に贈られる富士教導団長賞を、富士所から入隊した一瀬達也二等陸士が受賞した。一瀬2士は「この賞を受賞することができて嬉しい。後期教育は希望していた普通科教導連隊に行くことができるので、特に訓練を頑張りたい」と力強く広報官に語った。

担当地域から入隊した隊員たちからも「訓練は大変だったが、同期との生活は楽しかった」「後期教育も新たな同期と協力して乗り越えたい」といった声が聞かれ、広報官はげに気を付けて頑張るよう激励した。

また修了式には隊員家族も参列し、久しぶりの再会で遅くなった我が子と写真を撮ったり、家族水入らずのひとときを過ごしていた。

今後隊員は苦楽を共にした同期との別れを惜しみながら、それぞれの後期教育部隊へ進んでいく。

富士所は、今後も担当地域の隊員との連絡を継続するとともに、入隊者家族に対しても情報を発信し、自衛隊への更なる理解促進を図るよう広報活動に邁進する。



性別に関係なく働ける自衛隊を紹介



自衛隊静岡地方協力本部藤枝地域事務所（所長・宝保竜平一等陸尉）は6月28日（火）に藤枝市立広幡小学校、7月1日（金）に藤枝市立青島北小学校で行われた、藤枝市の男女共同参画事業「マイジョブ講座」に講師を派遣した。

この講座は毎年行われており、男女共同参画社会実現のため、感受性豊かな子供たちが職業選択の際、性別に関係なく本人の個性と能力を発揮できるようにと、実際に職業に就いた人から志望動機ややりがいなどを聞くもの。特に男性の多い職業で働く女性の話を聞きたいとの要望を受け、自衛隊は今回初めて参加した。

広幡小学校の6年生3クラス84人と青島北小学校の6年生4クラス109人を対象に、1クラス15分から20分ずつ講座を行った。

浜北募集案内所に臨時勤務中の伊藤新菜海士長が黒いマント姿で登場すると、児童たちの目はくぎ付けに。教諭が「職業を当ててください」と言つと、「裁判官」「介護士」「警察官」などの回答に混じって「海上自衛官」と正解を当てる児童もいた。

マントを脱いだ伊藤士長は、優しい口調で自衛隊の任務や自衛官になろうと思った理由、やりがい、護衛艦の射撃員の仕事についてわかりやすく説明した。児童は初めて見る女性海上自衛官に興味津々な様子で、質疑応答では「1回の航海で何日くらい出航しますか」「勤務時間は何時間ですか」「給料はどのくらいもらえますか」といったものから「魚雷はどうやって発射するのですか」「大砲の発射速度はどのくらいですか」など、マニアックな質問も飛び出した。終了後も質問でできなかった児童たちに困まれるほど人気で、伊藤士長は時間の許す限り質問に答えていた。

藤枝市の担当者や小学校の教諭からは「普段接する機会のない自衛官の話を聞くことができて、児童にとって貴重な体験になりました」といった声が聞かれた。

藤枝所は、今後も将来の職業選択の参考になるよう積極的に自衛官の任務ややりがいなどを丁寧に伝えていく。